

【議事】

(4) 「Sentinel-Asia (アジアの監視員)」プロジェクト構築のための第2回共同プロジェクトチーム会合開催結果について

JAXAの小澤 秀司 執行役が資料25-4(チーム会合開催結果)を説明し、その後、下記の質疑応答があった。

青江：データを見ることができ、それからどう使われるのか。

小澤：地震を例にとると、普段の画像を集積していたのが前提になるのだが、それと今の画像を重ねることで災害の状況がわかる。

青江：救助のヘッドクォーターが画像を見ながら指令を出すとか。

小澤：色々検討をしているところ。

青江：森林火災と洪水は近い³のですか。

小澤：部分的に、北海道とかオーストラリアでやってきている。これを全体的に広げていけば良いと思っている。

青江：何も無いところでいち早く捕まる効果は解る。

小澤：火災の場合では境界に穴を掘って延焼を食い止めることに利用できる。

青江：水害も境目が解る。

小澤：ニューオウルリズでも一目で判った。

森尾：災害から画像取得までに掛かる時間は致し方ないが、そ

³ 「実用化に近いのか」との意味だったらしい。小職は「両者の類似性」と思って聞いていたが、間違いらしい。

の後送り届けるまでにどの位時間が必要なのか。

小澤：数時間でデータの処理ができ、1時間で送信ができる。ただし、今のところALOS 1基体制なので、撮像までに最大2日かかる。

井口：昨晚、経団連の宇宙開発利用推進会議のレセプションに出席した。国会議員の先生が2名出席されており、「小さくても良いから具体的な効果⁴を」と言っていた。小澤さん⁵、よろしくお願いします。

⁴ 「国民に見えるような具体的な効果」と云う意味なのでしよう。「国にとって必要不可欠のことをやっている」のであれば、「できているのか」と問うだけで良い。「産業基盤となって欲しい」のであれば「儲かっているのか」と聞けば良い。「人寄せパンダが成績優秀になって欲しい」ので「効果を示せ」と問いかける。

⁵ 「国民への効果提示」の要求を「国際協力活動」に向けて良いのか。たとえ感謝されても、感謝の言葉は国民に届かない。票には繋がらない。

この手の国際協力の効能は「今後データを渡さないぞ」と云うカードの効果だけであろう。昔中国に売る商品が無かったイギリス人はアヘンを売り込んだ。アメリカが宇宙太陽発電所をもつ唯一の国になってはいけないと、たった一人で調査研究外交をやっているフランス人がいる。地球観測データの無償提供は外交政策に支えられる必要がある。